

令和7年度目標達成計画における評価

評価日 令和8年3月11日

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	評価
1	1・12・27・40・41	利用者様にも個性があり、お一人お一人への対応が異なる認知症ケアが重要となっている。利用者が安心した生活、本人本位の生活が送れるよう職員の認知症ケアの質が重要になる、	認知症である利用者が主体となり生活を送ることができる為、職員の認知症ケアの質向上を今後も目指す。	・認知症ケア勉強会開催 ・ミーティングの生活援助の話し合いの際、利用者の行動や困りごとへの対策を利用者の尊厳を守り安心した生活が出来よう話し合うことで職員のスキルアップを図る。	12ヶ月	定期的な勉強会や職員間での認知症ケアの情報共有を行うことで利用者、職員共に負担の少ないケアを実践することができた。
2	35・36	感染症対策（新型コロナ・インフルエンザ等）において外出が行えず、利用者様の楽しみが減っているのではないかな。	十分な感染対策を行い、地域の感染状況に即した楽しみのある生活を送る。	季節の行事、近場の散歩、ドライブ等出来る範囲での活動を行う。	12ヶ月	新型コロナが第5類に移行後、感染状況を確認しながらではあるが施設内行事企画や施設外への散歩、外出支援を行うことができた。今後も感染拡大を防ぐことへの理解をご家族や近隣地域へ求める必要がある。
3	2	感染症対策（新型コロナ・インフルエンザ等）により地域の方との交流が減っている	感染状況をみながら、地域行事への参加を行いたい。	地域の清掃活動、高齢者クラブ、サロンへ可能な範囲で参加する。	12ヶ月	感染対策や職員不足もあり地域行事への参加は出来なかった。運営推進会議は対面での開催が行えた。地域の方との交流は少なく来年度も継続し活動を行いたい。

(参考様式4)

事業所名 グループホームふれあい

目標達成計画

作成日: 令和 8年 3月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 12 27 40 41	お一人お一人個性があり、対応が異なる認知症ケアが重要となっている。利用者が穏やかに安心して生活や本人本位の生活が送れるよう職員の認知症ケアの理解が重要となってくる。	認知症である利用者が主体となり、穏やかに安心して生活を送ることができるよう、職員の認知症への理解や認知症ケアの質の向上を今後も目指す。	・認知症ケア勉強会開催 ・ミーティングの生活援助の話し合いの際、おひとりおひとりの行動や課題への対策や個々の尊厳を守り、心身ともに穏やかに安心して生活ができるよう話し合い、職員のスキルアップを図る。	12ヶ月
2	35・36	感染症対策において外出や行事企画が行えず、利用者様の楽しみが減っているのではないかな。	十分な感染対策を行い、地域の感染状況に合わせ、楽しみのある生活を送る。	季節の行事企画や近場の散歩、ドライブや外出支援等できる範囲での活動を行う。	12ヶ月
3	2	感染症対策により地域の方との交流が減っている。	感染状況をみながら、地域行事への参加を行いたい。	地域とのつながりが持てるよう、地域清掃活動、高齢者クラブ、サロンへ可能な範囲で参加、交流する機会を作る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。